



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第5回 通算1351回 平成26年7月29日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/15 修正出席率
		55名	31名	64.5%	91.1%

ゲスト: 市内6高校の生徒30名、担当教諭5名 ビジター: (なし)

★会長あいさつ

滝下 勲会長



皆さん、こんにちは。先週の水曜日に、幹事、井指パスト会長、青木ハートフル会員の4名で、永平寺の福山諦法貫首さんを表敬訪問してきました。来年度30周年ということで、福山貫首さんに一度ご挨拶に行った方が良いという事を出掛けて参りました。少しお歳をとられた感じはありましたが、お元気でした。

先週の金曜日に地区会員増強セミナーがあり、浅野委員長と2人で行って参りました。本年度は60名を目標にしています。「チャレンジ60」ということで、現在55名、あと5名増強して目標を達成したいと思います。セミナーの内容については、浅野委員長より担当例会の時に話があると思います。

本日は、ボラン・コラボ・穂の国7の交流例会です。ボランティアを高校生の皆さんがされていて、素晴らしいなと思っています。昨今、いろんな事件があります。皆さんが人の為に何かをしようという気持ちは大切だと思います。高校生3年間、その後、進学や就職と進まれた時に、そのことが役に立つと思

います。私たちのクラブも、それぞれが、会員に思いやりを持ちながら、輪を持って楽しくやろうということをしています。やはり人を思う気持ち、助けてあげる気持ちは、とても大切に、貴重な体験になると思います。高校卒業後もボランティア活動を続けて頂くことを望んでします。今日は、日頃の活動を、この場を使って発表して頂きたいと思います。よろしくお祈りします。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更のお知らせ
台中松竹RC会報の回覧

★青少年奉仕担当例会

委員長あいさつ

井指和昭委員長

本日の例会を担当させて頂きます。高校生の皆さん、引率の先生方、ようこそお越し下さいました。お忙しい中、暑い中ありがとうございます。

この交流会は2007年から始まり、8年目を迎えています。何よりも継続は力なりと言われるように、継続することは非常に良いことだと思います。ボランティア活動も皆さんが出来ることを、自分で考えて、少しの事でも良いので、それを続けていくことが1番大事だと思っています。ボランティア活動は、人の為にする、そして人の笑顔が見られる、それが自分にとって嬉しく、自分のこれからの人生に良い影響があると思います。

では、各高校の皆さんに、活動の報告をして頂きます。元気よく発表して下さい。

活動支援金の贈呈

各学校に2万円ずつ活動支援金が会長から手渡されました。



各学校の活動報告

◎国府高校



国府高校生徒会の活動について報告します。前期生徒会執行部は5月頃から活動を始め、10月に後期生徒会執行部に引き継ぐまでに学校行事としては3つ、ボランティア活動としては2つあります。

5月の中間テスト最終日にゆうあいの里ふれあいセンターでのボランティアをしました。雨が降らない限りは毎年行われているものです。今年は天候にも恵まれ無事に行うことが出来ました。駐車場や施設周りの草取り、花壇の花の植え替えなどをしました。テスト最終日だったため、参加者が集まらないのではないかと心配されましたが、学年の枠を超えて25名の参加者が集まりました。業者の方や施設の方にも喜んで頂けたと思います。僕も普段は学校の掃除ぐらいしかすることがないので、楽しみながらすることが出来ました。

6月には、豊川リレーマラソンの運営をお手伝いするボランティア活動に参加をしまし

た。本校のボランティアスタッフは、コースの安全管理や選手への給水、記録、集計のお手伝いや会場の清掃をしました。沢山の人が参加をしたので、これぞ町おこしと言ったような活気に満ち溢れていました。6月とはいえ、かなり暑かったですが、誰も熱中症などになることはなく無事に終わることが出来ました。

7月にはクラスマッチがありました。学年の枠を超えて、バスケ、バレー、ソフトボールなどで競い合う球技大会です。当日は雨が心配されましたが、予想をいい意味で裏切る晴天でした。結果の集計や賞状の準備など大変な仕事でしたが、リレーマラソンの時の経験を活かしながら自分たちなりに頑張れたのではないかと思います。

生徒会活動ではありませんが、夏休み中に行われる豊川街づくりボランティアや豊橋東ロータリークラブ主催の気仙沼復興ボランティアに参加する人もたくさんいます。気仙沼のボランティアには、生徒会執行部からも2名が参加します。めったにできない経験だと思うので、真剣に取り組みたいと思います。

前期生徒会執行部としては、夏休みがあげると直ぐに文化祭、体育祭があります。現在は、その準備を行っています。今年のテーマは「ネクストワン」。ただ伝統を引き継ぐだけではなく、新しい1歩を踏み出すという意味です。ボランティア活動においても、今までと同じ活動だけではなく、新しい活動にも挑戦して行けるといいと思います。学校全体を引っ張っていけるように頑張りたいと思います。

後期生徒会執行部では、赤い羽根共同募金と学校周辺の清掃ボランティアを行います。生徒会としての活動は、だいたいこれぐらいですが、定期的に学校周辺の美化活動を行う野球部、ボランティアに取り組む生徒たちの姿を写真におさめつつ一緒に活動に励む写真部など、部活毎の積極的な参加も見られます。

このように国府高校では、生徒会活動としてだけでなくボランティア活動の輪が広がっています。

国府高校は、東京オリンピックが行われる2020年に丁度100周年を迎えます。中継地点として気を抜いたりせず、これからも地域に愛され続ける国府高校を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。

◎小坂井高校



小坂井高校生徒会、平成26年度のボランティア活動についてお話をします。本校には、ボランティア部のような組織は無く、行事ごとに生徒会執行部の呼びかけで参加者を募って活動をしています。

本年度の最初の活動は、5月25日の善意フェスティバル2014への参加です。これは、豊橋善意銀行主催のイベントで、13の福祉施設、8の福祉団体、それに高校生や企業のボランティアの総勢約2,500名が豊橋総合動植物公園に集まり、色々なイベントを通してふれあい、お互いの理解と友愛を広めることを目的としています。本校からは65名の生徒が参加し、小さな子どもや体の不自由な方たちに付き添って会場を巡り、イベントを楽しんで頂けるようお手伝いをしました。

私たちは、善意フェスティバル2014を通して、助け合う事の大切さや自分たちの常識の狭さを知りました。私たちにとっては普通の事でも、子ども達や体の不自由な人たちにとっては、とても大変なことだったりします。相手の事を思いながらイベントを一緒に楽しむ事ができたので、とても良い経験になりました。

夏休みに入ると学校でまとまったの活動はありませんが、多くの生徒が個人で地域の福祉施設のボランティア活動に参加します。昨年に引き続き、気仙沼で行われる東北復興支援ボランティア活動に参加予定の生徒もいます。

2学期には2つの活動を予定しています。

1つは赤い羽根共同募金です。11月初旬に生徒会執行部員が校舎前に立ち、登校する生徒に募金協力を呼び掛けます。各クラスにお

いても、文化委員が呼びかけを行い、最後は私たち生徒会執行部で集計をして、愛知県共同募金会に届けます。今年の多くの生徒や先生の善意が集まると思います。

2学期のもう一つの活動は、クリーン大作戦です。期末試験の最終日の午後、学校周辺や日頃利用している通学路に出向き、一斉にゴミ拾いをするという活動です。生徒会の呼びかけに部活単位や個人で毎年500名以上の生徒が参加をしてくれます。徹底的に綺麗にしようと真剣に清掃活動した後出来るゴミ袋の山を見ると、達成感が得られると同時に、こんなにも多くのゴミが心無い人によって捨てられて長い間放置されていたのかと少し複雑な気持ちになります。

3学期には保育園訪問があり、これで1年の活動が終わります。ボランティア活動をして感じるのには、人の役に立てることは、とても嬉しい体験だということです。そればかりでなく、このような機会を通して、自分にとっても大切なことがたくさん学べる機会でもあると思います。一人でも多くの人に、それを知ってもらえるように、今年も本校のボランティア活動の充実のため努力していきたいです。以上です。ありがとうございました。

◎豊川高校



豊川高校の活動報告・活動計画を発表させていただきます。

新入生歓迎フェスティバルについて発表します。新入生が希望を持ってこれから学校生活を送れるように愛知県下の高校生全体で新入生を歓迎すること、また学費に苦しむ仲間たちを救うための「一億円募金活動」や東日本大震災支援運動について学び、沖縄や福島で起きている問題など社会の矛盾に目を向け

ること、そして様々な企画を通して各学校の部活動や自主活動の交流によって活動の幅を広げることを目的に愛知県高校生フェスティバルが開催したイベントです。

豊川高校では、1ヶ月を切っていた状態で学内の群舞練習を行いました。それにも多くの生徒が参加をしてくれました。フェスティバル当日は、あいにくの雨でしたが、踊ってくれた生徒の中には「大雨だったけど今まで頑張って練習してきた甲斐があった」と言ってくれた子もいました。そのようにことも含め、とても充実した新入生歓迎フェスティバルでした。

6月21日に豊川高校を会場に初夏の集いが行われました。この初夏の集いは、東三河の県会議員の方々に高校生の元気な姿を見てもらい、私学助成金を充実してもらうために行われました。講座では、震災について豊川高校と豊橋中央高校で東北スタディーツアーの報告会を行いました。他にも意見交換や質疑応答などをしました。野外ステージでは、豊川高校や豊橋中央高校、高校生フェスティバルの方とで群舞が行われ、また豊川高校和太鼓部やチアリーディング部、吹奏楽部による力強い演奏がありました。式典では、新入生歓迎フェスティバルで踊った群舞を豊川市長はじめ県会議員、市会議員の方々の前で披露しました。初夏の集いに参加して、とてもいい経験になりました。

サマーセミナーは、愛知県高校生フェスティバルが主催して、誰もが学びたいことを学び、教えたいことを教えられる夢の学校です。学校の授業の枠にとらわれない多彩な学びが3日間に渡って繰り広げられ、毎年3万人を超える人々が参加します。今年のサマーセミナーでは、本校生徒の活躍が目立ちました。大きな学力弁論大会に出場した上野光記君や自ら講座を開いた吉野有紀君です。上野光記君は見事優秀賞を獲得しました。自分の知らないことを知り、やりたいことを見つけられるのが、このサマーセミナーできないかと思いました。

東北スタディーツアーは、東北で起きた震災の脅威と惨劇、そして私たちの身にも起こるであろう南海トラフル大地震など、身近に潜んでいる災害などを考えるためのツアーです。春休みに行われたツアーには、本校生徒会役員2名が参加をしました。宮城県南三陸町で、津波や地震の爪痕を自分たちの目で見

て、3月11日に東北の地で起きたことを体で感じる事が出来ました。そして、本日の夜から4日間行われる第4弾東北スタディーツアーにも、本校生徒会生徒を含めた8名が参加することになっています。

リアカーボランティアは、豊橋中央高校さんの取組みで、折りたたみ式軽量リアカーを引きながら、道路のゴミを回収する地域清掃です。このボランティアに豊川高校も参加させて頂いて、五社稲荷から豊川駅までの間をゴミを拾って歩いて行きました。この活動を僕たち2校だけのものではなく、地域全体で取り組める活動になったらいいなと思いました。活動報告は以上です。

これからの活動計画として、今年度の豊川高学園祭は9月27日、28日に開催されます。「希望の国～人とのつながり～」をテーマに各クラス展や企画を進めています。学園祭のメイン企画は、「震災」をテーマにしたシンポジウムに決定しました。震災の過去、現在、そして未来と私たちがどうあるべきかを考え、実際に明日から私たちが東北に赴き学んだ事を発表し、東北で活動されている企業家の方をゲストに迎え討論会を行う予定です。東北と豊川の繋がりを深め、支援する気持ちを込めて東北物産展を行う予定です。PTA主催の式典では、市、県会議員や国会議員の方を前に、各文化部のステージ発表や保護者の合唱などを行い、私学助成の充実を訴えます。その他にも、野外ステージでの有志、文化部によるステージ発表やゲスト出演など楽しい企画を計画しています。

1億円募金は、家庭の経済的に理由や公立高校と私立高校の学費の差によって、学校に通いたくても通うことができなかつたり、途中で学校を辞めてしまう中学生、高校生を救うための募金活動です。どうして公立と私立の学費の差が生まれたと思いますか。それは国や県から使われる税金の額が違うからなのです。公立は100%税金が出ており学費が無料なのに対し、私立には半分ぐらいの税金しか使われていないから、このような公私格差問題が引き起こるのです。そのような問題に苦しむ中高生たちのために、この1億円募金活動では年間12万円の奨学金を無利子で貸し出しています。本校生徒会では、この1億円募金活動に積極的に取り組み、一人でも多くの公私格差に苦しむ仲間たちを救えるように頑張っています。

◎豊川工業高校



豊川市工業高校HSVボランティア部の発表を行います。よろしくお願いします。私たちボランティア部は1年生6人、2年生7人、3年生7人の計20人で活動をしています。

初めに子どもものづくり教室について説明をします。子どもものづくり教室は、月に1度プリオで行われる工作教室です。このボランティアは子どもたちに工作の楽しさを教える教室で一度に32人の生徒が受講します。私たちは、子ども達に工具の使い方や組み立て方などを教え作品を作っていきます。子ども達は、自分なりに工夫しており、私たちも新しい発見ができました。

豊川おいでん祭では、私たちは海外の貧しい人々に衣服を送るために、着なくなった衣類を回収、分別し、段ボールにつめる作業をしました。2日間の開催でとても多くの衣類が集まりました。1箱送るのに2,000円掛るため、同時に募金活動もしました。一緒に活動していた地域の人とも仲良くなることができ、休憩中にクッキーをもらうなど交流することができました。

献血ボランティア。この活動は青少年団の活動のお手伝いで、フリーマーケットや献血に来てくれた子ども達に簡単なゴム鉄砲の作り方を教えたり、プラ版の製作をしたりしました。またフリーマーケットの商品の搬入のお手伝いもしました。ゴム鉄砲を作った子ども達が試し打ちをしながら楽しんでいるのを見てやりがいを感じました。

豊川リレーマラソン。ここでは選手を応援しながら、交通整備や安全確保、給水所の手伝いなどの活動をしました。給水所で水を渡している時に選手から「ありがとう」と言われてうれしかったです。競技が終わった後は

競技場の片付けをしました。

ビーチコーミングではマリンアートキャンドルナイトに使う貝やガラスを集めに行きました。集めたものは、子ども達にキャンドルナイトで使う作品に使ってもらいます。暑い中でしたが綺麗な貝やガラスを使ってもらいたいと思い、選別をしながら拾いました。拾ったものは学校に持ち帰り、細かい汚れなどを落としました。貝の汚れが頑固で拾うよりも汚れを落とす方が大変でした。

最後は、これからの活動についてです。夏休みには24時間テレビの募金活動、防災訓練、小学校訪問などがあります。小学校訪問では、小学生にキャンドルホルダーに貼るイラストを描いてもらいます。キャンドルホルダーとは、キャンドルナイトに使うものです。キャンドルナイトとは、ボランティア部が主催しているイベントで、約2000本のキャンドルを使い文字を描きます。今年の漢字は「迎」です。文字の意味は、「迎」という文字を見て、皆さんは何を思うでしょうか。まず初めに「おかえりなさい」を思い浮かべるとと思います。その言葉はとても温かく、安心できて、そしてとても優しい言葉だと思えます。迎えてくれるということは、自分の事を想ってくれている証だと思えます。そして、冬が終わると新たに春を迎えます。春には新入生、新入社員が入ってきます。新たな生活を始める人たちを優しく迎え、来年もよい1年にしよう」という思いが込められています。私たちもキャンドルの量に負けないように頑張りたいと思います。以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎宝陵高校



ただ今より、平成26年度宝陵高校ボランティア活動計画を報告します。

福祉施設では、夏祭りから秋祭りと入所者の方の車椅子移動や模擬店の手伝いをします。福祉施設でのボランティアは夏休み期間を利用し、多くの生徒が参加予定です。秋祭り、クリスマスとボランティアに参加します。

豊川市と豊橋市の3大マラソン大会には、給水係や救護スタッフとして病院実習や学校で習った知識を活かす場となりました。

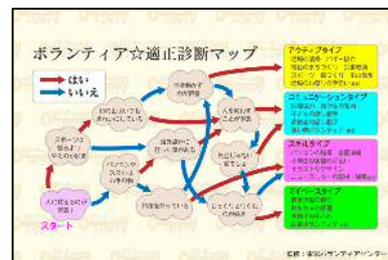
豊橋市の歩行者天国では、イベントスタッフとして活動しました。プロバスケットボールチーム浜松・東三河フェニックスのホームゲームで会場設営や受付をサポートしました。8月までに、延べ180名の生徒がボランティア活動に参加しています。

本年度は、もう一つ私たちに野望があります。私たちというよりも太田先生の野望です。それは、少しでも多くの生徒にボランティア活動に参加してもらうための戦略です。私たちの学校は、衛生看護科と福祉科があります。どちらも、人と関わる職業です。ですから高校生のうちから地域や社会と関わり、多くを体験してほしいと考えています。そこで、ボランティア活動に対するプロモーションを考えてみました。まだまだ、私たちのプロモ活動は始まったばかりですが、ボラ体験のある私たちが友達や先輩にボランティアの楽しさや達成感を伝えていこうと思います。

では、本校のボランティア活動には、どう参加すればいいのか紹介します。気軽さが大切です。まずは、ホームルームや2棟1階昇降口ボランティア掲示板の募集を見ます。申し込みの日時に集合します。担当の先生に承諾書を提出、注意事項や心得を聞き、これで申し込みは完了です。後は、先生がボラティア先と連絡を取り申し込んでくれます。ボランティア活動を実践するには責任が伴います。ボランティアの心得を十分に理解し、さあ出発です。今日は豊歩行者天国のボランティアで、着ぐるみです。翌日、担当の先生を校内で見かけたら、「先生、ボランティアに行ってきました！！」と報告します。

さて、自分には、どんなボランティアがあるかわからない、どんなボランティアからはじめようと迷っている皆さんへ、ボランティア適正診断マップはどうでしょうか。このマップは、先日、NHKのEテレ「大人へのトビラ」という番組で取り上げられたものです。このようなマップをボランティア掲示板やクラスに掲示してボランティアの入口

にしてもらえたらと思っています。皆さんは、どれに当てはまりましたか？番組HPにもアップされています。参考にしてください。



本校のボランティア活動に参加すると、こんな特典があります。全校生徒がボランティア保険に加入しています。また3年間で10回以上参加するとボランティア功労者として表彰されます。

まだまだ、私たちのプロモ活動は始まったばかりですが、ボラ体験のある私たちが友達や先輩にボランティアの楽しさや達成感を伝えていこうと思います。このプロモーションの成果を3月の交流会でお知らせできるよう頑張りたいと思います。

以上で、平成26年度のボランティア活動計画の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

★交流会開催

例会終了後に“ボラン・コラボ・穂の国7”の交流会が行われました。

「ボランティア活動をしてどう自分に変化があったか？」というテーマで、グループに分かれてテーブルディスカッションが行われました。



★ニコニコボックス

井指和昭会員 本日例会を担当します

会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員